

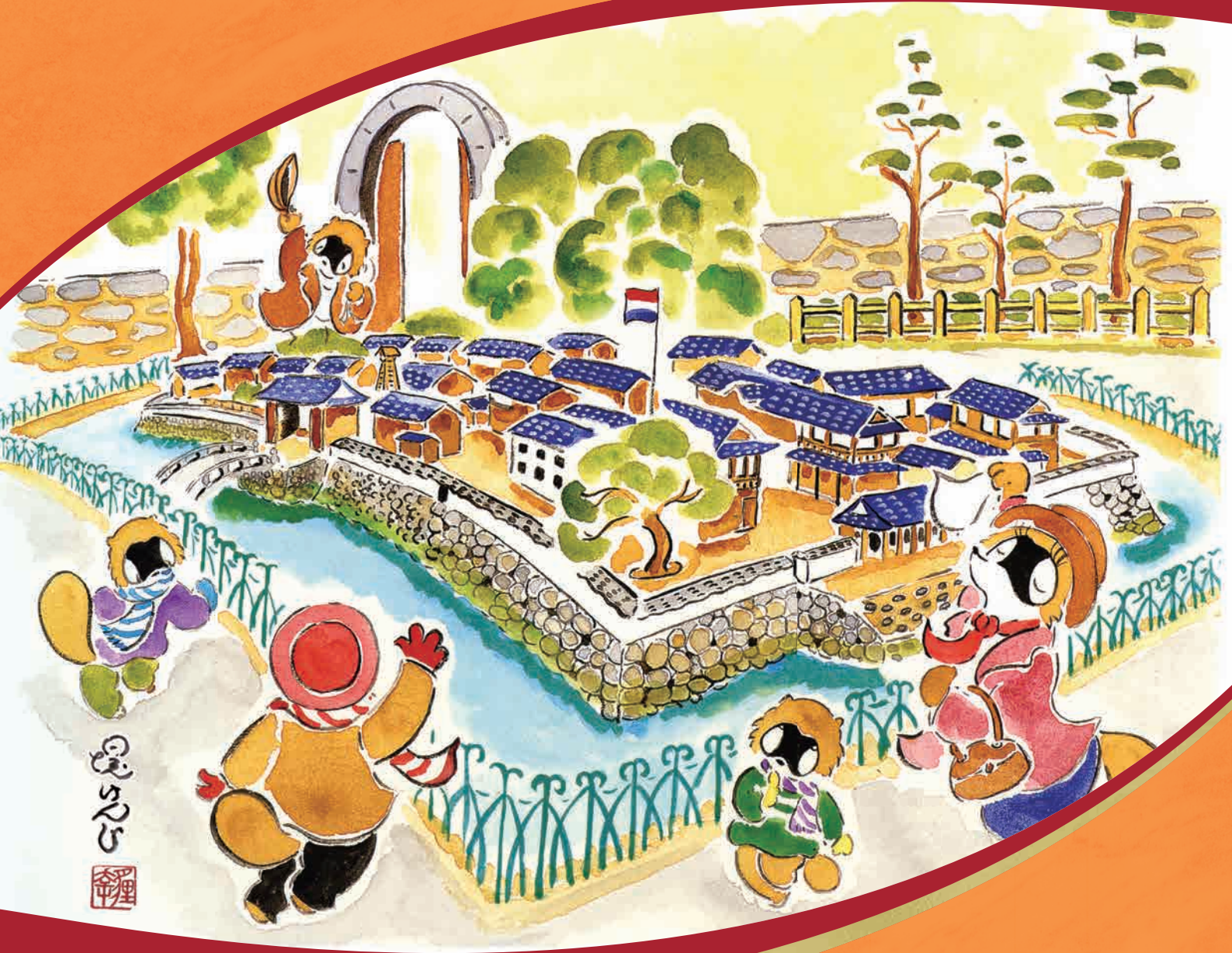
Rotary



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

vol. **5**
2021.11



ガバナー | 月信

2021-2022年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 塚崎 寛



2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
ガバナーメッセージ	2
職業奉仕委員会セミナー報告	7
ガバナー公式訪問クラブ報告	8
会員数・出席報告	19
新会員紹介	20
物故者・寄付者紹介	20
ロータリーコーディネーター NEWS	21
子どものころのわが町 長崎・編集後記	裏表紙

Governor's message



2021-2022年度 第2740地区ガバナー 塚崎 寛



本年、ガバナー年度に入り丸三ヶ月が経過しました。クラブ訪問は7月16日佐世保南 RC を皮切りに順調に進んでおりましたが、お盆過ぎより新型コロナウイルス感染症蔓延により ZOOM による懇談会を余儀なくされ、9月に入ってから地区内の会員の皆様方に直接接する機会がめっきり少なくなっていました。9月下旬よりようやく通常例会のクラブも増えてきて、皆様方の元気なお姿を見て元気を貰っております。

クラブ訪問は大変なことですが地区内のクラブを知るためには非常に重要なガバナーの責務の1つであります。もうすぐクラブ訪問も終了しますが、私の勉強にもなりましたし、クラブを少しでも知ること、友人が沢山出来たことは何事にも代え難い経験でありました。

ガバナーは体力勝負であると、つくづく実感しております。クラブ訪問は元より、突然の災害対策、地区内からの様々な相談・各種セミナー・RI 及び日本事務局による勉強会・月信の執筆・イベントへの参加・地区大会等々、挙げれば沢山ありますが、事務所スタッフや地区幹事、役員の皆様、パストガバナー、委員会の皆様にはご迷惑をお掛けしつつ、いつも助けられており、心より感謝申し上げます。

11月は財団月間です。

11月は1983年-84年度にロータリー財団月間と定められました。財団の奨学金事業及び人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施する月間です。

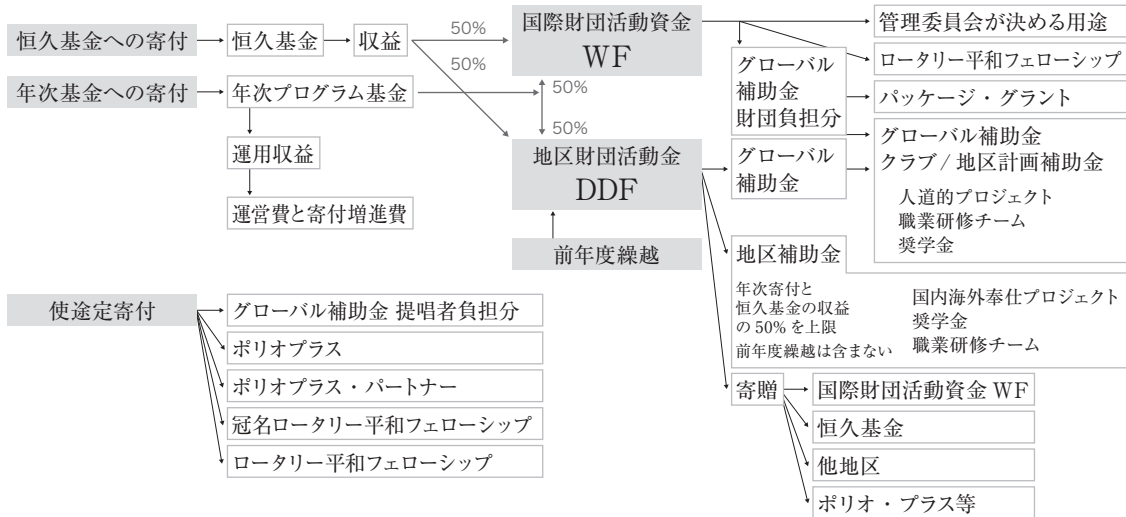
各クラブ毎に財団を取り上げた卓話・会長さんのメッセージを発信してください。

当地区は財団への理解がなかなか浸透していないのか、寄付を呼びかけてもそのシステムや意義を理解してもらうことが遅れているのか、毎回地区内寄付額1人当たりの寄付額も最下位から2～3番目の水準であります。

Governor's message

ロータリー財団への 寄付の流れ

当地区の年度の詳細情報は My rotary Available DDF by District を参照してください。



この度、大村ロータリークラブの石坂和彦会員がロータリー恒久基金に冠名で寄付されました。

「石坂軍次記念基金」創設への思い

第 2740 地区 大村ロータリークラブ 石坂 和彦

過日、駒井英基バスターガバナーを拙宅へご来訪頂き、今回の冠名基金（恒久基金）をご案内頂きました。

ちょうど本年 10 月が、父 軍次の生誕 100 年となります。三回忌でもあります。恩義あるバスターガバナーのお話を、恩返しのためにお受けいたしました。98 才、95 才で亡くなった父と母。その追慕と感謝の念で日々過ごしております。父の名をとり、「石坂軍次記念基金」としました。この機会を与您いただき、心より感謝いたしております。

資金使途は、新たにロータリー財団の重点項目に加えられました、環境分野と指定させていただきました。環境問題は、数十年前から、『今なら間に合う!』『誰かがではなくて、あなた自身!』と叫ばれ続けております。にもかかわらず地球が破滅の道をひた走っている様相です。

世界のロータリークラブの力は、大きな力となると信じます。私自身微力ではありますが、無力ではないと信じます。引き続きできることから小さな歩みを続けてまいりたいと存じます。

(財団室NEWS10月号掲載)



2016 年正月
自宅玄関前での親子写真

世界中で新型コロナウイルスの蔓延によりその対策に膨大な費用がかかり、コロナ不況やロータリアンの減少も相まり、財団への寄付額の大幅な減少が起こっています。このままでは種々な奉仕事業資金が数年後には枯渇してしまう危機が迫ってきています。

11 月の財団月間を機に、3 年後の奉仕活動のため財団への寄付をお願い致します。

Governor's message

ロータリー奉仕デーについて

ロータリーは新型コロナウイルス感染症蔓延、8月13日の集中豪雨災害の余波が残る中ではありましたが、その頃合いを見計らいながら、出来るクラブのみで小規模でも良いので取り込もうとのことで、9月26日（日）に実施致しました。諸般の事情で参加出来なかったクラブは10月中でも結構ですとのお知らせをしておりましたが、当地区では56クラブ中32クラブ、564名の登録を頂きまして全国一斉に行うことが出来ました。残りのクラブは10月中にお願い致します。

日本発祥の環境美化プロジェクトが日本全国で行われ、世界30ヶ国まで拡散しこの後も続々と参加の手が挙がって来ています。一部の写真を掲載します。

世界中からの報告



RI2740地区クラブ報告 (一部)



Governor's message



Governor's message



地区内災害につきまして

8月11日より続きました集中豪雨により被災された地区の皆様には心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧のため、地区内を始め、全国のガバナー会への支援を呼びかけましたところ、全国ガバナー会より9月30日時点で、28地区 ¥40,306,340-、地区内クラブ 30クラブ ¥2,615,150-が集まりました。今後も遅れて振り込まれてくることと思いますが、分配につきましてその方法を含めまして只今協議している最中でありますことをご報告致します。

なお、緊急を急ぐための生活支援金として、地区内資金より ¥5,050,000- を立替送金を致しましたことをご報告させていただきます。

全国の各地区の皆様、地区内の皆様大変有難うございます。

被災された皆様方の一日も早い復旧を心より祈念しております。

職業奉仕委員会セミナー報告

職業奉仕委員長 **山本 正樹**

国際ロータリー第 2740 地区職業奉仕委員会セミナーを、2021 年 9 月 11 日（土）Zoom にて開催しました。

オンラインでのセミナー参加依頼に対して各クラブの職業奉仕委員長及び入会 3 年未満の会員の方の参加を促し、地区役員も含め 156 名の参加エントリーをいただきました。

また塚崎ガバナー、上村ガバナーエレクト、緒方ガバナーノミニ、千葉研修リーダー、駒井 RLI 推進委員会顧問にも参加いただき 2740 地区に対する熱く力強いメッセージを発信していただきました。

基調講演には 2700 地区より職業奉仕理念に造詣が深い灘谷 PDG をお招きし、60 分間の講義を行っていただきました。標準ロータリークラブ定款第 6 条の職業奉仕理念の歴史を紐解きながら説明していただき一層理解が深まりました。また日本の長寿企業の根底にある商道徳と職業倫理の共通理念の話は、私たちの職業倫理の指針となるべきものだと感じました。

後半は基調講演の内容を踏まえて全員参加型のファシリテーションを 10 グループに分かれ、30 分×2回行いました。

ファシリテーションテーマ

1. 貴方はどのようなことを大切にお仕事されていますか？
 - ・あなたの会社において、一番大事にしている事を教えて下さい。
 - ・社訓や社是（モットー）はありますか？
2. 例会について
 - ・例会に入る前に工夫されている事はありますか？
 - ・職業についての卓話は、どのようにされていますか？
3. 四つのテストについて
 - ・どのように、四つのテストを日常活用していますか？



1 グループ 10 ～ 13 名程のファシリテーションにも関わらず DL の巧みなコントロールで参加者全員から多くの積極的な意見を聞くことが出来ました。参加されたメンバーはアイデアを各クラブへ持ち帰ってクラブの活性化に役立てていただけると確信しています。

参加された皆様及び裏で支えていただいた方々のセミナーに対するご協力に感謝しセミナー報告とさせていただきます。

ガバナー公式訪問クラブ報告



島原南RC

8月4日(水)

会長 日向 啓 幹事 赤司 智子

令和3年8月4日、塚崎寛ガバナーをはじめ、帯屋徹ガバナー補佐、岡田康信地区幹事、安田伸幸地区副幹事の4名をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

昨年は、事務局への不信、更には1~2名による独断専行で、出席率は30%台でした。改善策はないか模索している最中に、コロナウイルスにより、大打撃を受け苦戦している雲仙クラブとの統合の話が持ち上がりました。

両クラブとも、このままでは苦戦することとなるので、合併の話を進めることとしました。しかし、物事すべてに賛成反対があり、わがクラブにおいても然り。大揺れに揺れました。結果、若手メンバーの熱意が勝りました。「やりましょう」で島原南ロータリークラブは生き残りました。

今後の課題として、雲仙クラブとの合併をどう進めて行くかまだまだ問題がありそうです。更には、15名となった会員を本来の18名~20名辺りまで増やしていくこと、皆で話し合いながら、楽しい雰囲気づくりに努めていきたいと思えます。



多久RC

8月5日(木)

会長 古井 俊路 幹事 真崎 俊夫

8月5日(木)に塚崎寛ガバナー、吉田政亮ガバナー補佐、大家和義ガバナー補佐エレクト、岡田康信地区幹事、高田昌一郎地区事務局長をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

前年度は、コロナ禍の影響により懇談会のみで開催でしたが、今年度は通常の公式訪問例会が行う事が出来、大変充実した例会となりました。

懇談会では、当クラブの現況報告、クラブ会長テーマ運営方針、戦略計画委員会の現況について報告を行いました。

塚崎ガバナーより、会員増強については是非女性会員を純増内1名目標、また戦略計画委員会についての活動内容に関するアドバイスを頂きました。

例会では、塚崎ガバナーより地区目標と行動指針についての卓話を頂き会員増強(女性会員増)・ロータリー財団ポリオ根絶活動支援及び財団寄付、「戦略計画委員会」全クラブ設置、ロータリー奉仕デーについて短時間では有りましたが、大変有意義な例会となりました。

今後、会員一人一人がロータリーを楽しめるクラブ運営を目標に行きたいと思えます。

最後に大変暑い中、塚崎ガバナーはじめ、ご来訪頂きました皆さまへご訪問頂き感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀RC

8月5日(木)

会長 古賀 利明

幹事 古川麻由美

令和3年8月5日(木曜日)、当クラブへ塚崎寛ガバナーが公式訪問されました。

当日のプログラムとしては、17時30分から懇談会、18時30分から19時30分迄、例会の開催というスケジュールでした。

懇談会につきましては、当クラブの特色、前年度のコロナ禍でのクラブの例会の開催状況、女性会員の入会の現状、クラブ奉仕活動の事例報告等をメインにご報告させていただきました。

塚崎ガバナーの運営方針として強調されていたのは、会員増強、ローターアクトクラブ活動の再開への意識を持って欲しいとの事でした。

Rotaryの活動は、とても魅力ある人間創りのきっかけとなる活動と、私自身認識をしておりますので、女性会員、地元会員を意識した会員増強、会員純増目標達成の成果を創り出せるように、また、ローターアクト、次世代の若い人材の重要性を意識した視点で、コロナ禍でもありますが、クラブの活動に取り組んでいきたいと、感じております。



嬉野RC

8月6日(金)

会長 立野 大輔

幹事 吉田 直樹

令和3年8月6日(金)、嬉野温泉観光ホテル大正屋 千種の間において、塚崎寛ガバナー、山口康雄ガバナー補佐、岡田康信地区幹事、岡村展成地区会計長をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催しました。新型コロナウイルス感染第五波が広がりつつある中ではありましたが慈なく終えることが出来、安堵した次第であります。

例会に先立っての懇談会では当クラブより立野会長、吉田幹事、小野原会長エレクトロを交えての意見交換が行われました。吉田幹事より当クラブの現況報告がなされた後、塚崎ガバナーからは今年度の運営上の目標とそれに対する戦略と行動計画、年度末には目標達成の精査を行うことが大事である等々のご意見またご指導をいただき大変参考になりました。更に例会の卓話の中で9月12日(日)に行われるロータリー奉仕デーにおいては会員一丸となって地区の清掃奉仕活動に取り組むようご指導を頂きました。これを機に当クラブも各委員会一丸となってクラブの強化と活性化、奉仕活動の充実等今年度の目標達成を目指して一つ一つ具現化していくが大事であることを改めて痛感したところであります。

最後になりましたが塚崎ガバナー、山口ガバナー補佐、地区幹事、会計長の皆様にはご多忙中にご来訪頂き心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



島原RC

8月10日(火)

会長 馬場 善信 幹事 中林 政博

8月10日(火)、塚崎寛ガバナー、帯屋徹ガバナー補佐、岡田康信地区幹事、藤井智明地区副会計長をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会前に別室で行われた懇談会には、会長、幹事の他高城PDGも出席し、クラブの現況や活動方針等について説明を行い、ガバナーからは活動計画が熱心・緻密に練っており、素晴らしい計画ができているとのコメントを頂きました。

例会はコロナ感染拡大を受け、弁当持ち帰りの短縮例会で行いました。塚崎ガバナーは卓話において、RI会長テーマ“奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために”やメッセージ「会員増強」「超私の奉仕」の精神等と話された後、ガバナーとしての行動指針について、個々具体的に説明して頂きました。

当クラブでは、2年後の60周年に向けて会員増強(40名以上)等に前向きに取り組んでいく所存です。



長崎琴海RC

8月11日(水)

会長 田中 一広 幹事 西村 潮満

8月11日(水)、新型コロナ禍の折、塚崎ガバナー、張本ガバナー補佐、辻村ガバナー補佐エレクト、岡田地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

懇談会では、クラブの現況や活動方針について説明しました。特に、当クラブは7名と少なく、会員増強や奉仕活動について心配されていましたが、少ないながらも会員一人一人の行動力と責任感でこの難局を乗り越えていく決心をお話した所、激励を頂き感謝しております。

当クラブも創立30周年という節目を迎え、今期を折れ線グラフで例えると「底辺」と捉えて、クラブテーマを『30年目からの回帰と飛躍』と決めました。

そういうことから最大の目標は、会員純増3名を実現し、2桁会員を目指すことであり、もちろんそのための組織力強化も大事であり、そのための例会充実も図らなければなりません。

そのため会員の個性と能力を存分に発揮出来るように、環境整備を行い会員全員のリーダーシップを身に着けることを重要視しています。

新型コロナ禍で限定される活動の中でも、with コロナで変化に対応できるクラブ活動を目指したいと考えています。

塚崎ガバナーはじめ、ご訪問いただきました皆様のご指導ご鞭撻に感謝申し上げますと共に、今後のご活躍ご健勝を祈念申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀空港RC

8月30日(月)

会長 江口 和味 幹事 徳久 保

当クラブの塚崎ガバナーの公式訪問は、長崎、佐賀に新型コロナによるまん延防止等重点措置が出された為、塚崎寛ガバナー、岡田康信地区幹事、古賀久志ガバナー補佐、笠慶宣次年度ガバナー補佐をお迎えし Zoom での懇談会を開催いたしました。

佐賀地区は今回の大雨で被害を受けたことにお見舞いの言葉を頂きました。

会員増強の必要性、目標設定、達成度(率)などの説明をわかり易くして頂きました。

また後日、例会においてビデオによる卓話を参加者全員で視聴し、有意義な例会となりました。

懇談会・卓話を通して塚崎ガバナーから頂きましたお言葉、ご助言を参考として、今後のクラブ活動に活かし、佐賀空港ロータリークラブの活性化へ繋げていきたいと思っております。



諫早北RC

9月2日(木)

会長 橋本 政二 幹事 黒田 茂

9月2日(木)に予定されていた「ガバナー公式訪問」はコロナ禍のために残念ながら中止となり、「懇談会」のみの開催となりました。参加者は、塚崎ガバナー、森ガバナー補佐、岡田地区幹事、当クラブからは橋本会長、辻会長エレクト、幹事の私、計6名での開催となりました。

橋本会長よりクラブ運営について、幹事の私よりクラブ概況報告などの後、質疑応答などの順で進行了しました。塚崎ガバナーからは、「クラブの活動全般については、会員増加や地区出向者8名など、しっかりと運営されている」と評価していただきました。また、①会員増強については更なる努力をお願いしたい(特に女性会員も)。②環境奉仕デーについては趣旨を理解して実施していただきたい。など、何点かのご指導もいただきました。当クラブといたしましても、さらなる成長を目指して、会員一同協力して取り組んでまいります。

当日は、お忙しい中「懇談会」にご出席いただき誠にありがとうございました。



ガバナー公式訪問クラブ報告



牛津RC

9月3日(金)

会長 池田 浩一 幹事 有浦 仁士

去る9月3日(金)、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、リモートにて懇談会が行われました。塚崎寛ガバナー、岡田康信地区幹事、吉田政亮第1グループガバナー補佐、大家和義ガバナー補佐エレクトに同席して頂き、私たち会長幹事を含む計6名により行われました。

自己紹介後、有浦幹事(会長エレクト)よりクラブの概要について説明を行い、続いて今年度の会長指針について報告を行いました。『時代に即したロータリーの有り方』について討論もさせていただき、塚崎ガバナー自身の体験を含めたアドバイス等、貴重な話を聞くことが出来ました。また、当クラブの課題である、会員数については昨年度女性会員を含めた2名減があり、今年度の目標は女性会員を含めた3名以上の会員増強とし、ロータリー財団寄付金についても増額をしていきたいと思っております。奉仕活動については、良く活動されていると評価して頂き、今年度はロータリーデーの参加を含めた、奉仕活動を続けていきたいと思っております。

牛津ロータリークラブの特徴は、親睦の深い楽しいクラブです。コロナ禍で家族旅行など十分な親睦事業が出来ない状況ですが、奉仕活動をもって互いの気持ちが繋がり、またこの活動が会員以外の方へ届けば会員増強にもつながるのではないかと思います。

今回リモートによる懇談会となりましたが、吉田ガバナー補佐より機器を貸して頂き、問題もなくスムーズに会談を終えることが出来ました。有難うございました。

最後に塚崎ガバナーより大雨による被害について心配をして頂き、また義援金を頂き誠に有難うございました。直接お会いしてお礼を申し上げたいと思っておりますので、コロナ感染が落ち着いた際には是非当クラブへ訪問して頂くことを祈念いたします。



諫早南RC

9月6日(月)

会長 野中 澄子 幹事 千葉 まさこ

9月6日、塚崎ガバナー、森ガバナー補佐、岡田地区幹事、我がクラブより、会長、幹事、会長エレクトの6名で、ガバナー公式訪問懇談会に臨みました。この大変なコロナ禍、足を運んで戴きました事、感謝致します。

まずは、今期の目標としてやるべき事は、コンスタントにプログラムを滞りなくこなす事。その上で、歴史ある不変のロータリーの大切な価値観をしっかりと念頭に置きつつ、時代に即した組織作りをして参りたい……と申しました。

ガバナーは大変賛同下さり、「これから注目しています」とお褒めの言葉を下さいました。

ガバナーのお話から、人生の指針となるお言葉を沢山戴き、新たためて会員の皆様と気持ちを一つにして、23年の我がクラブの歴史を25年……30年……と繋げて行かねば……と心に誓いました。

終始、ガバナーの「人ととなり」を感じながらの和やかな会でした。

貴重で、有意義なお時間となりました事、心よりお礼申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



有田RC

9月7日(火)

会長 小林 成郎 幹事 徳永 一雄

2740 地区ガバナー公式訪問はウェブ会議となりました。塚崎寛ガバナー、岡田康信地区幹事、山口康雄ガバナー補佐、当クラブより会長・幹事・会長エレクト6名で行われました。

実際には、クラブ協議会后に公式訪問が行われますが、今回は公式訪問が先に実施されました。ガバナーから会員拡大、戦略委員会また会長のモットーについてお話がありました。有田 RC も会員 30 名と減少傾向にある為理事会に於いて議題の話をしています。有田のモットーは親睦であり今年度は60周年に当たる為60周年記念実行委員会を立ち上げ、まず親睦旅行が決定しています。

今回のウェブ会議公式訪問ではガバナーから御指導を受け有意義な会議となりました。



長崎南RC

9月8日(水)

会長 尾上 徹 幹事 馬場 政隆

2021年9月8日(水)、コロナ禍当クラブ例会が中止とり、塚崎寛ガバナー、梅本義信ガバナー補佐、岡田康信地区幹事をお迎えし、会長、会長エレクト、幹事の3名で懇談をさせていただきました。

最初に梅本ガバナー補佐からクラブ協議会の内容報告、続いて塚崎ガバナーから RI 及び地区の方針説明があり、尾上会長から当クラブの運営方針、幹事よりクラブ運営状況について説明をさせていただきました。

その後、塚崎ガバナーより、地区方針に照らし合わせ当クラブの活動状況がどのようになっているか沢山のご質問をいただき、我がクラブの状況を改めて確認する良い機会をいただいたと思います。

また、今年度は全世界で 8.4% の会員増を目標としており、会員増強活動のしっかりとした目標設定及びその活動検証の実施、女性会員の入会促進等について熱のこもった説明をいただき、当クラブとしても会員増強委員会とクラブ戦略委員会が連携し活動を進めて参りたいと思っております。

コロナ禍、ご来訪いただきました皆様のご指導に感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



大村北RC

9月9日(木)

会長 嶋原 博道 幹事 長津 弘

コロナ禍によりクラブ例会休止中の9月9日(木) ZOOM形式で懇談会を開催しました。異常事態の中とはいえ、例年と違いガバナーと直接お会いできないことは大変残念な事でした。懇談会では会員増強を中心にたくさんの有意義なご指導を頂きました。コロナ禍であればこそその貴重な時間だったのかもしれませんが。例会において頂ける時を心待ちにしております。

昨年、当クラブを結成当時より指導され、日本ロータリー思想の根幹を支えてこられた佐古亮尊パストガバナーが現役を退き特別名誉会員とされました。懇談会の最初に塚崎ガバナー直々に佐古パストガバナーのご自宅をお訪ねになりロータリーを代表して感謝の念を表されたと伺いとても嬉しかったです。会員一同に成り代わり心より御礼申し上げます。



諫早RC

9月10日(金)

会長 前田 俊彦 幹事 永尾 典嗣

2021-2022 年度新型コロナ禍の中、諫早クラブ事業の見直し等、例年にないまでの会の運営が行われています。8月20日の公式訪問が長崎県独自の緊急事態宣言が出たのと同時に武雄大町が豪雨災害に見舞われ大変な状況でした。

諫早クラブも8月27日、9月3日、10日の例会を休会と致しました。

そういった中でも森栄一郎ガバナー補佐と打合せをさせていただき、9月10日に塚崎寛ガバナー、森栄一郎ガバナー補佐、岡田康信地区幹事をお迎えし、当クラブからは会長、会長エレクトが出席し5名での開催となりました。

立川会長エレクトよりクラブ現況報告をしていただき、塚崎ガバナーより丁寧にアドバイスをいただきました。女性会員の件やガバナーを輩出して下さいとのことでした。諫早のビッグクラブがガバナーを出していないのはおかしいと指摘をうけました。当クラブも人材豊富ですから是非とも出したいと思いました。またクラブ運営についても素晴らしいアドバイスをいただきました。

塚崎ガバナーにおかれましては、ご多忙な年間だと思われまますのでお身体に十分注意されますよう、当クラブ一同心よりお祈り申し上げます。 感謝



ガバナー公式訪問クラブ報告



唐津RC

9月14日(火)

会長 徳川 清隆 幹事 辻 省治郎

いまだ終息の気配も見せない新型コロナウイルスの猛威と北部九州を襲った記録的な豪雨の影響により当初予定されていた塚崎ガバナーの公式訪問例会が中止となりオンラインでの懇談会形式となりました。

松尾憲篤ガバナー補佐より事前に行いましたクラブ協議会の内容報告をいただき、引き続き徳川清隆会長により当クラブの現況・活動報告・本年度の活動方針の説明が行われました。

その後、塚崎ガバナーからメンバーの増強、女性会員の受け入れについて、社会奉仕活動の実施、寄付行為の重要性等についてのアドバイスをいただき、今後の中長期戦略スケジュールにもぜひ落としてほしいとのコメントもありました。

緊張の中にも和やかな雰囲気です終始、オンラインでありながら肌感のあるあつという間の1時間の懇談会でありました。



佐賀南RC

9月14日(火)

会長 吉岡 義治 幹事 山本 正樹

本年9月14日に塚崎寛ガバナーとの懇談会を開催しました。

懇談会のメンバーは塚崎寛ガバナー、岡田康信地区幹事、古賀久志ガバナー補佐、吉岡義治会長、神代剛会長エレクト、山本正樹クラブ幹事の6名です。

コロナ禍ということもあり感染防止の観点からZoom オンラインにて実施。

吉岡会長のクラブ運営方針、山本幹事のクラブの現況報告の後、塚崎ガバナーから佐賀南クラブへの期待と適切なアドバイスをいただきました。

佐賀南クラブは2740地区への人材の輩出を積極的に行っている点や、コロナ禍の中での環境の変化に伴うWeb例会への取り組み、シチメンソウ清掃の継続的な活動等を評価していただきました。

また地区の目標である会員増強(特に女性会員)に関しては、クラブの目標とも一致しており明確な目標を持って取り組む必要があると改めて認識を深める事が出来ました。

ガバナーの適切かつ力強いご教示を受け、今後のロータリー活動に邁進していきたいと思っております。

最後にご多忙の中佐賀南クラブとの貴重な懇談会の時間を割いて下さいました、塚崎ガバナー、岡田地区幹事、古賀ガバナー補佐の皆様へ厚く御礼申し上げますとともに、ご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀北RC

9月15日(水)

会長 宮崎 敏則 幹事 山崎 信雄

コロナ禍の影響で例会の実施が困難な中、塚崎ガバナー他役員の方と当クラブ会長・幹事・会長エレクトが出席し ZOOM 会議で公式訪問が開催されました。ガバナーからは、地区目標と行動方針「新しい時代のロータリーを共に考え行動しよう」について話されました。

現在の当クラブ会員数は44名(うち女性会員3名)、今年度は4名(8%増)を目指していて、ガバナーからは目標については適当と思われるので達成に努力していただくようにと言われました。

他、ロータリー財団、ポリオプラス、米山奨学会への寄付も会長、会員の積極的な呼びかけで目標を達成させて下さいとの話がありました。

その他の奉仕活動として、福祉施設へポッチャセット一式を寄贈したこと、また、地元園児を招いて「さつまいもの栽培」の様子を紹介しました。

また来週にはロータリー奉仕デー環境美化プロジェクト「有明海のシチメンソウ畑」の清掃活動を行い、結果をアピールしたいと考えていると報告がされました。

以上にて公式訪問が終了しました。



小城RC

9月15日(水)

会長 中島 信哉 幹事 川原田啓太

当クラブは会員数 29 名の少数クラブですが、独自の奨学生制度、ひとり親世帯への支援、公園・史跡の清掃及びロータリーディ「ア・カペラコンテスト」の開催など、年間を通しての様々な奉仕活動は先達からの伝統です。

2021-22 年度は「新しい時代のロータリーを共に考え、行動しよう」の目標の下、全会員がロータリアンとしてのスキルアップを図ることを目指して行動しています。

9月15日(水)に、塚崎寛ガバナー、岡田康信地区幹事、森崎良昌地区副幹事の訪問を受けて、会員増強(特に退会者の減と女性会員の増対策)、ロータリー財団への支援、戦略委員会の設置・活動、マイロータリーへの登録及びロータリー賞の獲得挑戦等のアドバイスをいただきました。

塚崎寛ガバナーの熱意に応えるべく、今後は更に闊達なクラブ運営に努めて行きたいと考えています。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保東RC

9月16日(木)

会長 前田 和隆

幹事 緒方 大輔

昨今のコロナ感染状況に鑑み、公式訪問の予定を変更して、9月16日に塚崎ガバナー、岡田地区幹事、小川ガバナー補佐と、当クラブ会長・会長エレクト・幹事と Zoom での懇談会を開催して頂きました。会長よりクラブ運営・活動方針の発表と、幹事よりクラブの現況報告をさせて頂いた後、塚崎ガバナーはじめ岡田地区幹事、小川ガバナー補佐より、女性会員を含めた会員増強の方法や、例会により多くの方に参加して頂くための手法、よりクラブが元気になる為に戦略計画委員会を活用すること、ローターアクトの復活等、より当クラブが発展する為の大変貴重なアドバイスを頂きました。また今年度の RI の方向性やガバナーの方針についてもわかりやすくご説明頂き、ガバナー卓話を USBにてお預かり致しましたので、10月例会時に会員皆で拝見させて頂き、今後の当クラブの運営に活用させて頂きたいと存じます。今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



最後になりますが、ご多忙中懇談会を開催して頂きましたことに心より感謝申し上げますとともに、塚崎ガバナー、岡田地区幹事、小川ガバナー補佐の今後益々のご活躍、ご健勝を祈念申し上げご報告と致します。



ハウステンボス佐世保RC 9月16日(木)

会長 佐々木 茂彦

幹事 松尾 努

本来なら、8月24日火曜日に予定されていたガバナー公式訪問が、新型コロナウイルス感染症拡大のため、9月16日木曜日14時より zoom での開催となりました。

国際ロータリー第2740地区塚崎寛ガバナー、小川信第6グループガバナー補佐、岡田康信地区幹事、ハウステンボス佐世保ロータリークラブより私、松尾努幹事、杉山和宏会長エレクトの6名参加にて行いました。

塚崎ガバナー、小川ガバナー補佐、岡田地区幹事には、お忙しい時間に大変有意義なご指導、意見交換をさせて頂き感謝しております。

最初に、小川ガバナー補佐よりハウステンボス佐世保ロータリークラブの紹介をいただき、次に今年度会長をさせて頂いています私から、今年度クラブ運営方針の説明をさせて頂きました。

次に、塚崎ガバナーより当クラブの戦略計画へのご質問があり、短期計画や長期計画などのアドバイスをいただきました。

また、ロータリー全体と2740地区の会員を増やすためのクラブの会員増強、女性会員の入会増などの意見交換も行いました。当クラブは、女性会員が3名在籍（1名今期入会）しており、会員全体からの割合が他クラブより多いとのことのお褒めをいただきました。

次に、ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付などの意見交換があり、当クラブの実績を説明いたしました。

そして、今年度の新たな取り組みである、ロータリー奉仕デー環境美化プロジェクトについてご説明いただきました。当クラブでは、当初9月18日土曜日にハウステンボス駅周辺の海岸清掃を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により延期となっていることの説明をいたしました。

最後に、ロータリー賞、地区大会のご説明をいただき、zoomでのガバナー公式訪問終了となりました。クラブ全員での公式訪問とはならず、塚崎ガバナーから直接お話を伺うことが叶わず残念でしたが、塚崎ガバナーのビデオ映像での趣旨内容はクラブ全員が理解しております。

今後ますますロータリークラブが繁栄するよう取り組んでまいりたいと思います。最後になりますが、会員一同、ガバナー公式訪問に深く感謝いたしますとともに、塚崎ガバナーのご健康、ご活躍を心より祈念申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



唐津東 RC

9月17日(金)

会長 前田 春実 幹事 吉田 祐希

コロナの影響で予定されていた公式訪問例会が中止となり ZOOM での会議となりました。

最初に塚崎ガバナーより今年度の基本方針を述べられ、松尾ガバナー補佐より唐津東 RC の概要説明、私のクラブ運営方針、吉田幹事より概況報告と流れ、慣れない ZOOM での会議ではありましたが、有意義な時間を共有出来たことに感謝したい。

会議の中で塚崎ガバナーよりいくつかの提案があり、その中でも「第2740地区 ローター感謝デー」環境美化プロジェクトの実施、女性会員を含めての会員増強を述べられました。

ロータリー感謝デーに関してはコロナの影響で9月の開催は中止となりましたが、確実に進む旨を伝えました。

また、会員増強に関しましては唐津東 RC 戦略計画の中で重要な目標のひとつに掲げていることを話させて頂きました。

自然環境や国際情勢が日々変化する中で、私たち RC 活動も毎年変化を続けていますが、唐津東 RC は、「親睦と融和」を今後も変わらぬ第一の目標に掲げ前に進もう。



唐津西 RC

9月22日(水)

会長 牧原 康 幹事 野崎 伸也

9月22日のガバナー公式訪問の予定が、コロナ禍の影響により当日 WEB 懇談会という形式で行われました。今回は事前のクラブ協議会が出来ず、配布頂いた「ガバナー卓話」を拝見させて頂いた上での懇談会でしたのでスムーズな会議が出来たと思います。

2740 地区の目標と活動指針の説明の後、当クラブの運営方針とクラブの概要と今後について話し合うことが出来ました。これからの時代は多様性が求められているということで、会員増強活動は基より女性会員増強の大切さも多様性を求めるには不可欠な課題とのご指摘を受け、今後の当クラブの課題とさせて頂きます。他活動計画書の内容についても様々な改良点を提案して頂きましたので、次年度以降はより良い内容になるよう改良しようと思います。またコロナ禍で大変ではあるが、WEB等様々な方法やアイデアを駆使して下さいとの助言でした。塚崎ガバナー、有意義な懇談会有難うございました。



2021年8月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	1	84.3	71	6	75	7	1	0	1	4
	小城	4	60.9	28	4	29	4	0	0	0	1
	牛津	2	88.1	32	0	32	0	0	0	0	0
	多久	2	75.0	40	4	39	5	0	0	0	1
	佐賀大和	2	76.0	26	5	26	5	0	0	0	0
	小計		76.9	197	19	201	21	1	0	1	6
第2グループ	佐賀西	1	80.6	36	3	37	3	1	0	1	1
	佐賀北	3	67.2	44	2	44	3	0	1	-1	0
	佐賀南	2	71.8	38	3	38	3	0	0	0	0
	神埼	1	80.6	37	4	37	4	0	0	0	1
	佐賀空港	3	72.2	18	1	18	1	0	0	0	0
小計		74.5	173	13	174	14	1	1	0	2	
第3グループ	有田	2	72.5	30	2	30	2	0	0	0	0
	武雄	1	83.7	43	2	43	2	0	0	0	0
	鹿島	3	90.0	31	3	30	3	0	1	-1	-1
	嬉野	1	88.0	25	1	25	1	0	0	0	0
	大町	1	78.6	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	3	96.3	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		84.9	152	8	151	8	0	1	-1	-1	
第4グループ	唐津	1	91.1	60	0	62	0	0	0	0	2
	伊万里	1	86.2	30	0	29	0	0	0	0	2
	唐津東	1	89.1	51	0	51	0	0	0	0	0
	唐津西	1	75.9	30	0	31	0	0	0	0	1
	伊万里西	1	97.0	38	1	39	1	0	0	0	1
	唐津中央	1	100.0	37	5	37	5	0	0	0	0
	小計		89.9	246	6	249	6	0	0	0	6
第5グループ	佐世保	0	0.0	74	0	75	0	0	1	-1	1
	平戸	1	92.0	26	2	26	2	0	0	0	0
	北松浦	3	82.8	22	0	22	0	0	0	0	0
	佐世保西	2	71.1	19	2	19	2	0	0	0	0
	松浦	2	83.3	24	1	27	1	1	0	1	3
小計		65.8	165	5	169	5	1	1	0	4	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2021年7月1日から2021年8月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第6グループ	佐世保南	1	100.0	56	0	56	0	0	0	0	0	
	佐世保東	1	41.6	24	0	24	0	0	0	0	0	
	佐世保北	3	100.0	40	2	39	2	0	1	-1	2	
	佐世保中央	1	90.5	46	1	46	1	0	0	0	0	
	佐世保東南	2	60.0	35	0	34	0	0	0	0	-1	
	HTB佐世保	1	84.2	22	2	23	3	1	0	1	1	
	小計		79.4	223	5	222	6	1	1	0	2	
第7グループ	大村	3	91.4	42	3	41	3	0	1	-1	-1	
	島原	2	88.9	28	2	29	2	1	0	1	1	
	雲仙	1	100.0	5	0	5	0	0	0	0	0	
	大村北	1	92.0	23	1	26	1	0	0	0	3	
	島原南	3	57.7	15	1	15	1	0	0	0	0	
	大村東	1	90.0	34	4	34	4	0	0	0	0	
小計		86.7	147	11	150	11	1	1	0	3		
第8グループ	諫早	2	79.5	72	0	73	0	1	0	1	1	
	諫早北	3	78.6	77	4	78	4	0	0	0	1	
	諫早西	3	98.6	45	0	46	0	1	0	1	1	
	諫早多良見	4	80.4	32	0	32	0	0	0	0	0	
	諫早南	2	62.5	16	8	16	8	0	0	0	0	
	小計		79.9	242	12	245	12	2	0	2	3	
第9グループ	長崎	2	82.5	65	0	68	0	0	0	0	3	
	福江	0	0.0	33	0	33	0	0	0	0	0	
	長崎北東	1	81.1	39	2	39	2	0	0	0	0	
	福江中央	1	25.0	14	0	14	0	0	0	0	0	
	長崎西	1	82.4	36	1	37	1	0	0	0	1	
	長崎琴海	2	76.9	7	0	7	0	0	0	0	0	
	小計		58.0	194	3	198	3	0	0	0	4	
第10グループ	長崎北	1	87.5	72	0	77	0	0	0	0	5	
	長崎南	1	76.2	68	0	69	0	0	0	0	1	
	長崎東	2	79.0	40	1	40	1	0	0	0	0	
	長崎みなと	1	85.2	29	1	29	1	0	0	0	0	
	長崎中央	1	87.2	49	0	49	0	0	0	0	0	
	長崎出島	1	69.6	69	11	69	11	0	0	0	0	
小計		80.8	327	13	333	13	0	0	0	6		
56クラブ合計				77.9	2,066	95	2,092	99	7	5	2	35



新会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に記載させていただきます。



佐賀 RC

久芳 真一郎君
日本銀行 佐賀事務所
事務所長



松浦 RC

春藤 貴博君
春藤建設(有)
専務取締役



HTB佐世保 RC

村嶋 寿深子君
長崎OMURA室内合奏団
芸術監督・副理事長



島原 RC

北浦 誠君
(株)ホテル南風楼
フロント支配人



諫早 RC

竹野 由一君
宅島建設(株)
常務取締役



諫早西 RC

金城 卓磨君
(株)西原商会九州
長崎営業所 所長



佐賀西 RC

後藤 亮君
九州電力(株)
佐賀営業所 所長



物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大村 RC
笠井 和幸君
(享年70歳)



寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	塚 崎 寛	長崎中央
マルチプルポールハリスフェロー	花 島 光 喜	鹿島
	西 沢 雅 幸	佐世保南
	溝 越 孝	諫早北
	長谷川 宏	長崎琴海
ポールハリスフェロー	酒 井 眞 紀	大村
ベネファクター	塚 崎 寛	長崎中央

米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	塚 崎 寛	長崎中央
米山功労者マルチプル	駒 井 英 基	佐賀南
	岡 田 康 信	長崎中央

ポリオ・ワンコイン BOX 報告	今月分 BOX 金額	累計金額
	115,261	278,980



ブランドを育てる (ブランディング)

■ブランディングの意義

企業においてその名と活動の意義を広く社会に認知し理解してもらうことは、経営戦略いわゆるマーケティング戦略においてとても重要なことです。同様に奉仕と親睦を標榜し、職業人による世界的ネットワークを構築してきたロータリーにおいても、世界中の地域社会に好ましい変化をもたらす行動人として、その活動を認知してもらうことは公共イメージ向上にとって大変重要なことです。その本質は、ロータリーの存在意義(意味)とその活動の「魅力」を伝えていくことです。

そのためには「ロータリーのブランド」を育てていく必要があります。そもそも「ブランド」とは、焼き印のことで、特定生産者による商品を他のものと識別する手段として使われてきたものです。ブランドはロゴマークやその意味するものを企業と顧客との接点(タッチポイント)を通して、顧客に評価され、顧客の脳裏に蓄積されていく価値のことで、したがって「ブランディング」は、顧客の頭の中にブランドを構築し、価値を高めて確固たる評価を得ていくことです。つまりブランドを育てていくことです。「ロータリーのブランディング」においても、ロータリアン及び、クラブと地域住民や各種団体などのタッチポイントを通して、ロータリーの魅力を広く社会に認知され評価されていくことが求められます。

■インナーブランディングとアウトブランディング

クラブや会員が各種の奉仕活動を通じて、地域住民や各種団体とのタッチポイントによる一貫性のある訴求行動をとっていくことが、ロータリーブランドの「らしさ」(価値)をつくるカギとなります。ロゴマークの入ったTシャツでの町の清掃や祭り、各種イベントでの協力、こういったその場その時のタッチポイントが公共イメージ浸透のカギとなります。ロータリー活動に関わるすべてのロータリアンが、何をなすべきか課題を明確に抱いて目標に向かって行動することが必要です。これを成功に導くためには、まず会員へ行動を促すためのロータリー研修、ことに公共イメージ向上のためのブランディング研修が欠かせません。この会員向けに行うブランドの意識づけが「インナーブランディング」です。

一方「アウトブランディング」と呼ぶテレビや新聞、ネット記事などの外向けの宣伝広告あるいは展示会やイベントがあります。宣伝広告は広域にわたり広報されますが、かなりのコストがかかります。コストのかからない方法として、新聞や雑誌等のメディアに「記事」として取り上げてもらう「パブリシティ」がありますので、意義ある奉仕活動を記事に載せてもらうことも重要です。

■日経新聞に掲載

去る10月22日(金)の日経新聞にロータリーの記事が掲載されました。「地球の課題 今、解決へ若い力を」を大見出しに、辰野克彦RI理事がインタビューに答える形で、ロータリーとは、ロータリーの特色とは、世界での奉仕活動についてなど、思いを込め力強く述べられています。またロータリーの「とんがり」ともいふべき「ポリオ根絶」のメッセージ、日本独自の「米山記念奨学会」の紹介や、日本ロータリー黎明期のクラブも紹介されており、アウトブランディングにとっても有効であると感じました。皆さんの地区や地元地域において、この日経新聞のようなマスメディアのメッセージを活用していただき、ロータリー活動を活発に行われることを期待いたします。

ブランディングの意義をご理解され、「インナーブランディング」と「アウトブランディング」がうまく調和して一貫してロータリー活動が実施されれば、ロータリーと社会がつながり、クラブの活性化とロータリーの公共イメージ向上に大いに役立つものと信じます。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 高良 明(川崎西RC)

会員数9万人復活を!

昨年年初からあっという間にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症ですが、わが国ではワクチン接種の進展に伴い、何とか収束の気配がしてきました。

全世界に衝撃をもたらしたこの新型コロナウイルスに、我らがロータリーも多大な影響を受け、その活動の停滞だけでなく、結果的にクラブ数や会員数にも大きな打撃を受けました。一昨年7月から見ると、日本でも34地区のうちクラブ数が増えたのは2730地区(鹿児島・宮崎)の1地区だけで、実に22地区でクラブの終結・減少がみられ、全地区で会員数が減少し、現在8.5万人と低迷しています(いずれも7月末対比)。ただ、その中で世界のロータリー会員数は、130万人を目指すシェカール・メータRI会長の「Each One, Bring One」の檄によって、今年6月に116万人台まで落ち込んでいたものが、10月には119万人にまで回復しています。

その会員増に貢献しているものに、2013年度から導入された「衛星クラブ」があります。「衛星クラブ」はわが国でも昨年度から各地区で具体的な取り組みが始まり、昨年度で9クラブ、今年度は7月に2クラブが誕生しています。そしてこの動きは「衛星クラブ」の理解度が徐々に高まってきたということだと思います。これからが楽しみです。是非、これからのロータリアンの登竜門としての「衛星クラブ」設立を検討してみてください。

さて、ロータリーの基本は“サービス”ですが、このロータリーサービスは行動があって初めて具現化されます。新型コロナ禍では、クラブ例会が休会に追い込まれたり、オンラインでの開催になるなどと、クラブサービス活動にも制約を受け、更に目指す社会奉仕活動においても制限を強いられるようなものにせざるを得ない状況でした。でもそれも緊急事態宣言やまん延防止措置が解かれた今、私どもはその喜びを早速行動で表しましょう。そして各会員、各クラブ、そして各地区のロータリーサービスに勢いを感じられるものになれば、それがロータリーブランドの向上につながり、ひいては新会員の入会促進と会員の退会防止にもつながります。私共は会員一人一人の会員増強活動も大切ですが、各クラブ、各地区では、公共イメージ向上委員会と一体となって、ロータリーサービスの素晴らしさを社会の皆さん方に広めていき、クラブの門戸を叩く人を増やしていただければ、それは本当の基盤向上につながります。さあ、わが国でもあと8か月で、会員数9万人復活を実現しましょう!

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 神野 重行(名古屋名駅RC)

Rotary  2021-2022年度

地区大会

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

11/27(土) 会場 出島メッセ長崎

ごあいさつ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



ガバナー 塚崎 寛



実行委員長 植松 俊徳

国際ロータリー第2740地区2021～2022年度地区大会を塚崎寛ガバナーのもと開催することになりました。長崎市としては5年ぶりです。

会場は、来年の新幹線開業を控え、11月1日にオープンする出島メッセ長崎（長崎駅直結の本格的コンベンション施設）。新しく生まれ変わった長崎駅周辺を多くのロータリアンの皆さまにご覧いただけます。

また、オリンピック会場（新国立競技場）の設計者としても有名な隈研吾氏に講演を頂くことになっております。

コロナ禍での開催で何かと不自由をおかけしますが、ご参加いただきますようお願いしております。

ホストクラブ 長崎中央ロータリークラブ

プログラム

11/27(土)

会場/出島メッセ長崎

- 13:00～ 本会議（第1部）
- 14:30～ 記念講演 隈研吾氏

隈 研吾

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。国内外で多数のプロジェクトが進行中。国立競技場の設計にも関わった。主な著書に『点・線・面』（岩波書店）、『ひとの住処』（新潮新書）、『負ける建築』（岩波書店）、『自然な建築』（岩波新書）、『小さな建築』（岩波新書）、他多数。

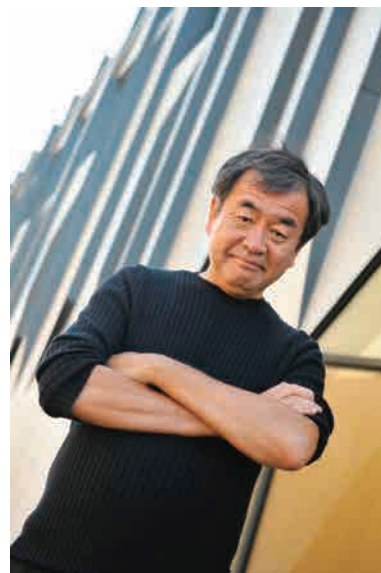


Photo (c) J.C. Carbonne

- 16:15～ 本会議（第2部）

例年行っておりましたRI会長代理歓迎晩餐会、セミナー、懇親会、親睦ゴルフ大会につきましては、時節柄、中止とさせていただきます

子どものころのわが町 長崎



昭和 30 年代 市役所より長崎駅方面を見た写真です。

NBC の当時の建物（勿論別館などまだありません）は、オシャレな建物で上部のアンテナ部分が回っていたとか。桜町電停、中町教会も写っていますが、今月中には NBC も長崎警察署同様長崎駅方面（長崎市尾上町）に移転されるとのこと。

写真集「長崎おもいで散歩」（真木満氏撮影）より

編集後記

令和 3 年 4 月 23 日、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発せられ延長等を経て今日に至りましたが、令和 3 年 9 月 30 日をもって、緊急事態が終了する旨の公示がなされました。また先月号の新入会員紹介欄では 40 名の方々の写真を拝見しました。誠に喜ばしい限りです。

第2740地区ガバナー事務所

〒850-0045 長崎市宝町2-26

ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション内

TEL：095-895-5330 FAX：095-825-8587

E-mail：ri2740tsukasaki@joy.ocn.ne.jp

URL：https://rotary2740.jp/（7月1日よりホームページのURLが変更になりました）